

# 競技注意事項

1. 本大会は、2019年度(財)日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項に従って行う。

## 2. 招集について

- (1) 招集は、第4ゲート(100mスタート側)に設ける。
- (2) 競技者は、招集開始時刻から招集完了時間の間、招集所においてコールを行う。その際、必ず本人が行い、ナンバーカードを持参すること。
- (3) トラック種目は、コールの際に腰ナンバーカードを配布する。
- (4) 競技者は、コールを済ませた後、競技者係の指示に従い競技場所へ移動すること。
- (5) 招集時間

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	15分前
フィールド競技	40分前	30分前

- (7) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなす。ただし、同時に他種目に参加する者は、その旨を競技者係に申し出て、前もってコールをすること。

## 3. リレーについて

- (1) リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の60分前までに、招集所に提出すること。ただし召集を規定どおり行うこと。(用紙は、招集所に用意する)
- (2) リレー競技に参加するチームは、同一のユニホームまたはハチマキで参加すること。

## 4. ナンバーカードについて

ナンバーカードは、ユニホームの胸・背部に確実に付けること。ただし、走高跳、走幅跳は、どちらか一方だけでよい。

## 5. 走路・競技順序・競技方法について

- (1) トラック競技の走路順およびフィールド競技の競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- (2) 予選から決勝に進出する際、プラスの競技者が同タイムで9人を超えた場合、1000分の2秒まで着差を判定する。なお、着差なしの時は抽選とする。
- (3) スタートにおいて、同じ競技者が2回不正スタートをした場合、その競技者を失格とする。
- (4) 60m、100mはクラウチングスタートを原則とするがスタディングスタートも認める。  
コーチによるスタート補助を認める。
- (5) 走高跳(はさみ跳び)は、マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。

## 6. ハードル競技について

高さ・・・70cm 台数・・・9台

距離・・・スタート → 1台目「13m」 ハードル間「7m」 9台目 → フィニッシュ「11m」

失格・・・手で倒したりハードルから脚(あし)が出た場合。

## 7. バーの上げ方

男女走高跳	100(練習) 100-105-110-115-120-125-(以降5cm)
-------	---

(注)第1位および第6位が同成績の場合、順位決定のバーの上げ下げは、走高跳では2cm単位とする。  
なお、気象条件等により6項を変更する場合は、審判長がその旨決定する。

## 8. 用器具について

(1) 大会に使用する器具は、競技場付設のものを使用すること。

## 9. ウォーミングアップについて

- (1) 競技前の練習は、競技場内バックストレート外側とバックスタンド裏の補助走路を使用してもよい。
- (2) 跳躍競技および投てき競技は、招集完了後場内で審判員の指示のもとに行うこと。
- (3) 雨天時は室内練習場を開放する。

## 10. その他

- (1) 使用するスパイクのピンは、走高跳は12mm以下の平行ピンとし、その他は9mm以下の平行ピンとする。
- (2) 該当学年での参加を遵守する。
- (3) 競技場内・スタンドは全て禁煙とする。
- (4) 記録は競技場内の記録掲示板に掲載する。
- (5) ゴミは各自で全て持ち帰ること。